

## 平成 22 年度 外国人リハビリテーション医交流報告

日本リハビリテーション医学会 国際委員会 委員長 志波 直人

平成 22 年度日本リハビリテーション医学会外国人リハビリテーション医交流助成による日本訪問が終了したので、下記の通り報告する。

名 前：Lee/Young-Hee, MD (男性)

所 属：Department of Rehabilitation Medicine, Yonsei University Wonju College of Medicine (韓国)

期 間：2010 年 12 月 3 日～6 日

訪問先：福岡山王病院，久留米大学病院リハビリテーション科，八女リハビリテーション病院

発表演題：How will the FES function well ? —Make the better use of Non-invasive Electrical Stimulation—  
他

名 前：Neil A Segal, MD (男性)

所 属：Department of Orthopedics and Rehabilitation, Orthopaedic Gait Analysis Laboratory—Clinical  
Osteoarthritis Research Program (米国)

期 間：2010 年 12 月 16 日～21 日

訪問先：東京大学リハビリテーション部，大阪医科大学附属病院リハビリテーション科，久留米大学病  
院リハビリテーション科

発表演題：Use It and Lose Less : What Master's Athletes Teach Us About the Physiology of Longevity 他

外国人リハ医交流印象記はリハニュース 50 号 (2011 年 7 月 15 日) に掲載予定です。